

# 大学コンソーシアム富山 令和3年度「合同企業訪問事業」実施報告

<b>事業名</b>	大学コンソーシアム富山 教育連携部会 合同企業訪問																								
<b>実施機関名</b>	国立大学法人 富山大学																								
<b>趣旨・目的</b>	<p>県内の7高等教育機関の学生が、専門分野(学部学科)や年次が違う他大学の学生と一緒に、社会人としての心構えやマナー、そして、就職先としての富山県の魅力や県内企業についての事前学習等を行うとともに、実際の就業現場を見て、そこで働く大学OBや県外から就職した若手社員と意見交換等行なうことにより、県内企業の魅力発見及び就業意識の向上を図ることを目的とし実施した。</p> <p>【必要性】</p> <p>①県内企業の人材の確保や若者の県内定着の取り組みが求められている。 ②県内企業のニーズに応える人材の育成が求められている。</p> <p>【効果】</p> <p>①各機関の連携によるキャリア教育・学生間の交流 →学生のキャリアデザイン形成支援、就業意識、就活力の向上 ②県内企業の若手社員(大学OBや県外出身社員)との交流 →就業意識の向上、県内定着促進</p>																								
<b>開催日時</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事前研修 令和3年9月7日(火) 13:15~16:30</li><li>・職場訪問研修(第1日) 令和3年9月9日(木) 9:15~17:00</li><li>・職場訪問研修(第2日) 令和3年9月10日(金) 9:15~17:00</li></ul>																								
<b>開催場所</b>	オンライン開催：国立大学法人 富山大学(富山市五福3190番地)																								
<b>参加人数</b>	<table border="0"><tr><td>・富山大学</td><td>学生 82名</td><td>引率教員 6名</td></tr><tr><td>・富山県立大学</td><td>学生 12名</td><td>引率教員 3名</td></tr><tr><td>・高岡法科大学</td><td>学生 7名</td><td>引率教員 1名</td></tr><tr><td>・富山国際大学</td><td>学生 41名</td><td>引率教員 3名</td></tr><tr><td>・富山短期大学</td><td>学生 6名</td><td>引率教員 1名</td></tr><tr><td>・富山福祉短期大学</td><td>学生 0名</td><td>引率教員 1名</td></tr><tr><td>・富山高等専門学校</td><td>学生 3名</td><td>引率教員 1名</td></tr><tr><td>合計</td><td>学生 151名</td><td>引率教員 16名</td></tr></table>	・富山大学	学生 82名	引率教員 6名	・富山県立大学	学生 12名	引率教員 3名	・高岡法科大学	学生 7名	引率教員 1名	・富山国際大学	学生 41名	引率教員 3名	・富山短期大学	学生 6名	引率教員 1名	・富山福祉短期大学	学生 0名	引率教員 1名	・富山高等専門学校	学生 3名	引率教員 1名	合計	学生 151名	引率教員 16名
・富山大学	学生 82名	引率教員 6名																							
・富山県立大学	学生 12名	引率教員 3名																							
・高岡法科大学	学生 7名	引率教員 1名																							
・富山国際大学	学生 41名	引率教員 3名																							
・富山短期大学	学生 6名	引率教員 1名																							
・富山福祉短期大学	学生 0名	引率教員 1名																							
・富山高等専門学校	学生 3名	引率教員 1名																							
合計	学生 151名	引率教員 16名																							

## 事業内容

本事業の目的に沿い、「事前研修」と「職場訪問研修」(2日間)に分けて実施した。

なお、当該事業は、実際の就業現場を訪問することを第一の目的としていたが、富山県において新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが、8月16日から「ステージ3」に移行され、加えて8月20日から9月12日までの間「まん延防止等重点措置」の実施区域に富山県(富山市)が適用されたことに伴い、オンラインによる開催(Zoom/ブレイクルーム方式)に切り替えて実施した。

それぞれの内容は次のとおり。

**【事前研修】** 令和3年9月7日(火) 13:15~16:30

・場所:メインルーム

富山大学(五福キャンパス)就職・キャリア支援センター

### ◆開会セレモニー(13:15~13:20)

- ・開会挨拶 富山大学 中村和之副学長
- ・全体日程説明 大学コンソーシアム富山事務局

### ◆ビジネスマナー・企業研究講座(13:20~14:20)

(参加者全員メインルームにて視聴)

- ・講師:富山大学地域連携戦略室特命准教授 尾山 真 氏  
(兼 富山大学就職・キャリア支援センター副センター長)  
(補助学生:富山大学キャリアサポーター2名参加)

### ◆コース別ミーティング(14:30~16:30)

(ブレイクアウトルーム(コース別)へ移動)

- ・引率者進行によりグループリーダー及びサブリーダーを選出
- ・学生進行により事前学習内容発表(記録は「Google スライド」を使用)
- ・意見交換(知りたいこと、聞きたいこと)
- ・企業への質問事項取りまとめ

**【職場訪問研修】** (オンラインによる訪問先企業等は4頁のとおり)

### ◆職場訪問研修(第1日) 令和3年9月9日(木) (9:15~17:00)

8コース(16企業)

### ◆職場訪問研修(第2日) 令和3年9月10日(金) (9:15~17:00)

8コース(13企業、2機関)

・場所:メインルーム

富山大学(五福キャンパス)就職・キャリア支援センター

- ・内容:
  - ・コース毎にブレイクアウトルームに分かれて各企業等をオンラインにより訪問
  - ・訪問先企業等から、会社概要、事業内容の説明
  - ・若手社員(職員)等との交流(懇談)、質疑応答
  - ・参加学生間で、訪問先企業等について印象に残ったことや感じたことについて意見交換
  - ・終了後一週間以内にレポートを作成し、メール添付で提出

## 事前研修 9月7日 (火)

〈開会セレモニー〉

中村富山大学副学長挨拶



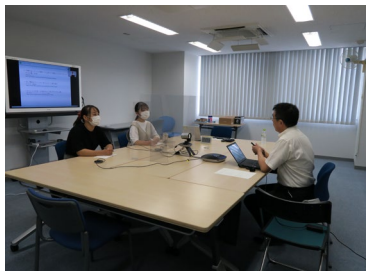
〈引率者打合せ〉

スケジュール、進行要領確認



〈ビジネスマナー・企業研究講座〉

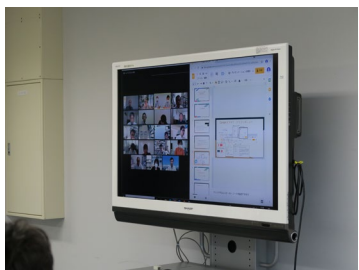
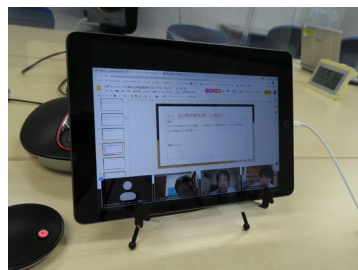
尾山講師から「マナー講座というよりコミュニケーション講座」と題して、マナーだけでなくコミュニケーションとして捉える観点から講演（補助学生2名参加：富山大学キャリアサポーター）



〈コース別ミーティング〉（ブレイクアウトルーム（コース別）に入室）

参加学生の中からグループリーダー・サブリーダーを選出

（グループリーダーが進行、サブリーダーは「Google スライド」を使用し記録）



## 職場訪問研修 9月9日(木)・10日(金)

### (第1日) 9月9日(木)訪問コース

コース名	【午前】訪問企業等	【午後】訪問企業等
1. 建設・景観デザイン	塩谷建設(株)	(株)ヤマシタ
2. 自動車・食品販売	(株)品川グループ本社	アルビス(株)
3. 運輸・鉄道・ホテル	トナミ運輸(株)	富山地方鉄道(株) 立山黒部貫光(株)
4. 紙加工・印刷	サクラボックス(株)	富山スガキ(株)
5. 医薬品	(株)広貫堂	(株)陽進堂
6. 電子部品・機械器具製造	(株)富山村田製作所	(株)スギノマシン
7. ソフトウェア・システム開発	北陸コンピュータ・サービス(株)	立山科学(株) (資料提供)
8. エネルギーインフラ	北陸電力(株)	日本海ガス絆ホールディングス(株)

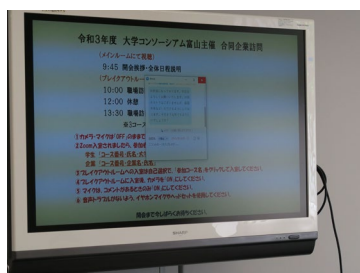
### (第2日) 9月10日(金)訪問コース

コース名	【午前】訪問企業等	【午後】訪問企業等
9. 銀行・保険	(株)北陸銀行	損害保険ジャパン(株)
10. アルミ・プラスチック加工	三協立山(株)	三光合成(株) (資料提供)
11. 金属加工	(株)CKサンエツ	BBS ジャパン(株)
12. 情報通信	(株)インテック	富山テレビ放送(株)
13. 環境・サービス	(株)アイザック	(株)プレステージ・インターナショナル富山 BPO タウン
14. 原薬・医薬品	テイカ製薬(株)	富士化学工業(株)
15. 技術サービス・コンサルタント	(株)ジェック経営コンサルタント	(株)新日本コンサルタント
16. 公務	富山県庁	射水市役所

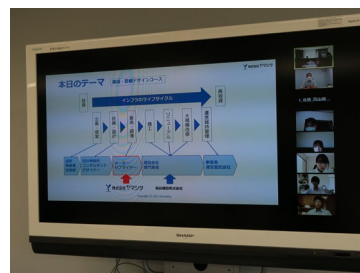
### (進行要領) 〈メインルーム(富山大学 就職・キャリア支援センター)〉

開会セレモニーの後、ブレイクアウトルーム(コース別)に入室

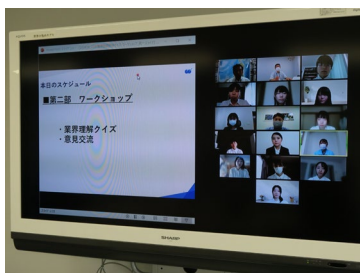
- ①学生グループリーダー挨拶 ②学生自己紹介 ③訪問先企業から会社概要、事業内容説明
- ④社員(職員)との交流(懇談)・質疑応答 ⑤訪問先企業退室後、学生間意見交換 ⑥終了



会社概要、事業内容説明（企業パンフレットは事前に参加学生へ送付済み）



社員、職員との交流（懇談）、質疑応答



職場訪問終了後に学生間で意見交換



**【「今回の合同企業訪問に参加して得たこと。」（学生の参加レポートから抜粋）】**

- ①就職がゴールではないと改めて感じた。就職してからも、お客様や会社、さらには社会のために成長し、貢献するべきだと学んだ（3年）
- ②どの企業でも自主性や自分で考える力、気づける力が非常に大切だと感じた。自分にとってどんな職種、業種があうかをもう一度深く考える必要があると感じた。（3年）
- ③実際に働いている人のやりがいを感じることや、会社の良いと思うところなども知ることができた。オンライン開催となり、初対面の同じグループの学生と意見交換することの難しさを感じたが、相槌をしたり、自分が発言する前に他者の発言に対する反応を返してあげることが重要だとわかった。（2年）
- ④社会発展と環境保護をどのようにバランスを維持するのかという問題に関心があったが、今回の説明会で、この問題の答えをもらいました。例えば、セラミックスの特性を利用した高性能電子部品を世界中に供給していることは人々が高性能部品へのニーズを満たすのみならず、自然環境への保護もできるところは一番感じているところでした。（2年（留学生））
- ⑤合同企業訪問事業に参加して、事前学習時点と訪問後で印象が全く違って、実際に働いている人に聞かないと分からないことが多くあるということが分かった。特に、具体的な業務内容や時間、どうい

う人に向いているのか、仕事の制度などについて詳しく知ることができた。(1年)

- ⑥今回の合同企業訪問事業に参加することで就職活動について考えるきっかけを得ることができた。また、社員の方から、大学生活ではいろいろな経験をしておいたほうがいいということ聞いたので、長期休暇などでいろいろな経験を試してみようと思う。(1年)

### 【「今後の就職活動に対する思い。」(学生の参加レポートから抜粋)】

- ①今回の合同企業訪問事業は、薬品業界だけではなく他の業界についても調べるきっかけにもなったので、これからは視野を広げていくことが重要だと感じた。さらに、今回は製薬会社の概要を理解することができたので、これからは他の製薬会社についても調べて企業研究を進めていこうと考えている。再びこのような企業訪問をする機会がある際には、企業選びの軸や、自分の能力がどのように活かすことができるかなど、今回よりもさらに就職活動を意識して話を伺うことが重要だと感じた。(3年)
- ②今回は2社の企業のお話を伺ったが、更に視野を広げ、より多くの企業を調査し、同じ業界でもどのような違いがあるのか、またどのような点を強みにしているのかを判断していきたい。今回学んだことを活かし、積極的・挑戦的に働くことができる企業を中心に探し、自身もそれに見合うような行動を取っていきたく感じた。(3年)
- ③就職活動を本格的に進める前の今の段階では、大学での学習やアルバイトなど、日ごろの取り組みを大事にしていきたいと思います。常日頃から積極的に学ぼうとする姿勢が就職活動において企業で必要な存在として映ってくれると考えられるからです。(2年)
- ④今回の合同企業訪問で、今自分がすべきことを見つけることができたので、本格的に就活が始まるまでにその目標を達成させることを最優先に頑張っていきたいと考えています。また、自分の将来を悔いのないものにしていくために、今できることをしっかりとやっていきたいと思います。(2年)
- ⑤合同企業訪問に参加して良かったと思いました。ホームページや資料を見て企業を知ろうとしても限界があり、このような機会を通して実際にその企業で働いている方から企業について教えていただくことで、働く側からの意見であったり、ホームページや資料に載っている内容をさらに詳しく知ることが出来たので、就職を考える際の良い参考になったと思います。(2年)
- ⑥文系という分野にとらわれず、様々な企業を体験してどういったことをやりがいとして働いているのかということを感じてみたい。そこから自分が一番やりたいと感じるものを絞っていききたい。また、就職活動で志望動機を書くときに、明確な理由をもって書くことができるように自己分析、企業分析をこれから行っていきたい。(1年)
- ⑦参加する前は、まだ入学したばかりだから就活について考えるのは早いなと感じていました。しかし、参加してからその考えは変わりました。早すぎるということは決してなく、自分の興味があることを学び、気になる企業について調べていくことを少しずつでも進めていくことが、後々役に立っていくのだと感じました。(1年)